

第3回ヴェーダ文献研究会 プログラム

日時：2014年9月6日（土） 10:00 — 17:00（開場 9:30）

場所：本学 2 階大講義室

開会 10:00

10:10 アグニ（火祭壇）積み上げ前の生殖に関する記述について 伊澤 敦子

10:40 ヴェーダ祭式中にみる祭主の超人性 大島 智靖

11:10 Atharvaveda と Bṛhadāraṇyaka-Upaniṣad II の Śloka とにみられる *cāmasa-* の比喻
里見 英一郎

昼休み 11:50—13:00

13:00 Bṛhadāraṇyaka-Upaniṣad II 3 の *neti neti* について 竹崎 隆太郎

13:30 『リグ・ヴェーダ』における短音の不規則な長音化現象について：
語根名詞で終わる名詞複合語を中心に 高橋 健二

14:00 ヴェーダ語における3人称複数接続法の語形について 堂山 英次郎

休憩 14:40—14:50

14:50 ヤジュルヴェーダにおけるマントラとブラーフマナとの関係 西村 直子

15:20 Maitrāyaṇī Saṃhitā の新校訂本作成について —計画と現状報告— 天野 恭子

15:50 「五火説」「一道説」「二道説」の系譜 阪本(後藤) 純子

今後の課題について 16:30—16:50

ヴェーダ文献研究会のお知らせ

第3回ヴェーダ文献研究会を、本学を会場に、下記により開催することになりました。

日時：2014年9月6日（土）10:00 — 17:00（開場 9:30）

場所：本学 2 階大講義室

「ヴェーダ文献研究会」は、若手ヴェーダ研究者が自由な発表発言の場を通じて、互いの研究発展を目指す場として始まりました。天野恭子（日本学術振興会、京都大学人文科学研究所）、西村直子（東北大学文学研究科専門研究員）を中心に、昨夏東北大学で第1回が行われ、本年6月1日には京都において2回目の集会在持たれました。

この度、第3回目の研究会を、国際仏教学大学院大学において開催する運びとなりました。研究発表、問題提起、話題提供、情報交換など、自由な枠組みで開催の予定です。8月中頃を目処にプログラムを具体化し掲載する予定です。

ひとりインド学に留まらず、隣接する諸ディスイプリンにとっても基本的な意味を持つヴェーダ文献研究の発展普及に資すべく、この機会に広く興味をお持ちの皆様にお知らせし、参加を呼びかけます。ご参加戴けます場合、また、発表発言等の用意がございましたら、伊澤または後藤までご連絡下さい。質問があれば、何なりとお問い合わせ願います。また、開かれた研究会を目指しておりますので、広く興味をお持ちの方にお声掛け下さい。

伊澤敦子 <izawa@icabs.ac.jp>

後藤敏文 <goto@icabs.ac.jp, gotop@m.tohoku.ac.jp>